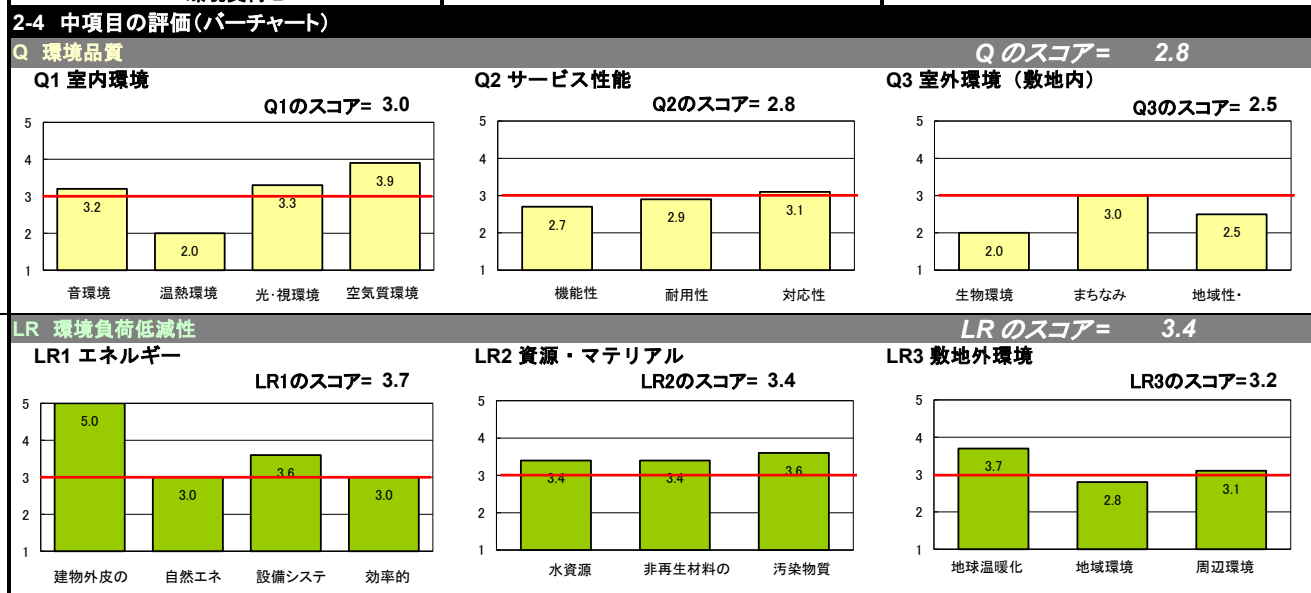
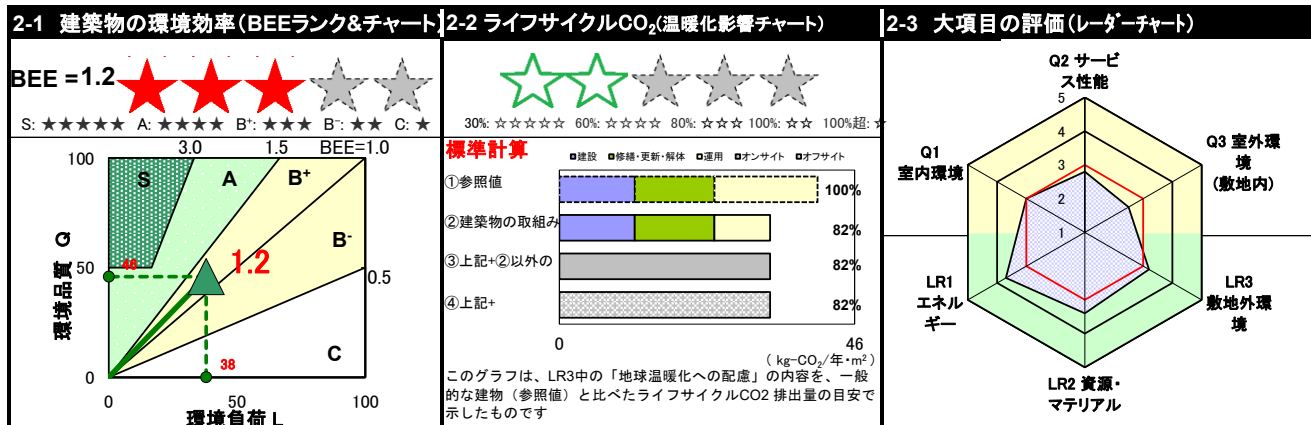
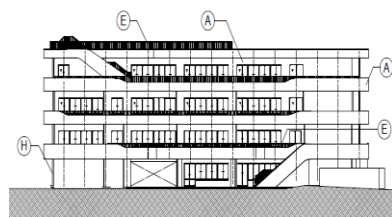




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	菊名小学校建替工事	階数	地上3F、地下1F
建設地	神奈川県横浜市港北区菊名五丁目592番1外	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	1,234 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年7月 予定	評価の実施日	2025年6月13日
敷地面積	16,466 m ²	作成者	田平 康二
建築面積	3,505 m ²	確認日	2025年10月30日
延床面積	9,033 m ²	確認者	横浜市教育委員会教育長



3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	開口部遮音性能:T-2以上。 そして、2.5%≦[昼光率]。 また、自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽をして良好な景観を形成している。 そして、低い生垣等を設けて 防犯性に配慮している。 また、室外機はほとんどをGL+10m以上の 位置に設置。
LR1 エネルギー	建物で消費される各種エネルギー消費量を年間に渡って把握し、消費原単位等を用いてのベンチマーク比較が行える。	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストを満たしている項目が一部である。また、広告物照明は行っていない。
Q2 サービス性能	耐震クラスA。 そして、ケーブルラックを利用しているため構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる。	
LR2 資源・マテリアル	節水やなどに加えて、節水型器具も採用している。 そして、軽量鉄骨地下使用している。 また、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

受付日 2025年12月9日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 菊名小学校建替工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

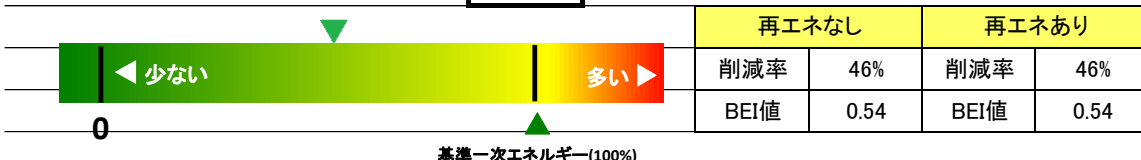
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

3

■省エネルギー性能

この建物の設計一次エネルギー消費量 46 %削減



基準一次エネルギー(100%)

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI=0.59。

③BEI=0.54。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩2.5% ≤ [昼光率]

⑪ビル全体の禁煙が確認されている。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2025年版v1.0

菊名小学校建替工事

バージョン CASBEE横浜2025年版v1.0

スコアシート		重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質				-	-	-	-	2.8
Q1 室内環境				-	0.40	-	-	3.0
1 音環境				3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-	-
1.2 遮音				3.6	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能				5.0	0.30	-	-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	-	-	-
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	-
2 温熱環境				2.0	0.35	-	-	2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.60	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.40	-	-	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境				3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用				4.2	0.30	-	-	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	5.0	0.60	-	-	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	-	-	-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	-	-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境				3.9	0.25	-	-	3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-	-
4.2 換気				3.6	0.30	-	-	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	0.33	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	0.50	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8
機能性				2.7	0.40	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.50	-	-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	1.0	-	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性	4.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.1	0.30	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり				2.8	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり				2.0	0.60	-	-	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-

3.3	設備の更新性			3.4	0.40			
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
	3	電気配線の更新性		5.0	0.10			
	4	通信配線の更新性		5.0	0.10			
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30			2.5
1	生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑮生物環境の保全と創出	2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑲まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑳地域性への配慮	2.0	0.50		
	3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	㉑敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性				—	—			3.4
LR1 エネルギー				—	0.40			3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20		5.0
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10		3.0
3	設備システムの高効率化				3.6	0.50		3.6
	集合住宅以外の評価		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.6	1.00		
	集合住宅の評価		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	—	—		
4	効率的運用				3.0	0.20		3.0
	集合住宅以外の評価				3.0	1.00		
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50		
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50		
	集合住宅の評価				—	—		
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	—	—		
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	—	—		
LR2 資源・マテリアル				—	0.30			3.4
1	水資源保護				3.4	0.20		3.4
	1.1	節水			4.0	0.40		
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		
		1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		
		2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		
2	非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60		3.4
	2.1	材料使用量の削減			2.0	0.10		
	2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20		
	2.5	持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20		
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20		3.6
	3.1	有害物質を含まない材料の使用			4.0	0.30		
	3.2	フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		
		1	消火剤		—	—		
		2	発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50		
		3	冷媒		3.0	0.50		
LR3 敷地外環境				—	0.30			3.2
1	地球温暖化への配慮				3.7	0.33		3.7
2	地域環境への配慮				2.8	0.33		2.8
	2.1	大気汚染防止			3.0	0.25		
	2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		
	2.3	地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25		
		1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		
		2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		
		3	交通負荷抑制		1.0	0.25		
		4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		
3	周辺環境への配慮				3.1	0.33		3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
		1	騒音		3.0	1.00		
		2	振動		—	—		
		3	悪臭		—	—		
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		
		1	風害の抑制		3.0	0.60		
		2	砂塵の抑制		3.0	0.20		
		3	日照阻害の抑制		3.0	0.20		
	3.3	光害の抑制			3.7	0.20		
		1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		4.0	0.70		
		2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		
上記以外の重点項目								
<事務所用途>								
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	—	—			
<住宅用途>								
健康と安心								
	1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	—	—		
	2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	—	—		
	3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	—	—		
	4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	—	—		